

# 踏切安全通行カルテ

よみがな	おしの		道路名	押野16号八日市二丁目線11号							
踏切道名	押野		(道路管理者名)	金沢市							
			鉄道路線名	北陸本線							
所在地	石川県金沢市八日市5丁目262-2		(鉄道事業者名)	西日本旅客鉄道							
地図 (広域及び狭域)	詳細		広域	写真 (現況及び対策後)							
											
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし 設置していない			
	踏切長(m)	10.7	左道路	0.0	6.5	1.5	歩車道分離方法	カラー舗装			
	横断本数(本)	2	踏切道	0.0	7.0	0.0	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	○		
			右道路	0.0	6.5	1.4		歩道+車道2車までの拡幅の場合	-		
	交差角(度)	60	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)		
				-	-			両方共なし	-		
	道路 線形	左道路	直線	直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	○			
		右道路	直線	-	-	-		-			
	緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	○		
		自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)					事故多発踏切	-	
歩行者ボトルネック踏切		-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
歩道狭隘踏切		○	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
		左道路	6.5	0.0	-1.5		6,645				
		右道路	6.5	0.0	-1.4	596					
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			地域住民より歩道拡幅の要望がある。 (通学路に指定されているが、歩道が狭小、児童の通学等に危険があるため。)				
	道路交通事故	1	1	H25：車両相互(自動車×二輪車)							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切		踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	構造の改良	
	設置の 必要性	有無		設置 年度	障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置		二段型 遮断装置	指定年	H25
	無	-		-	ループコイル 式	-	-		-	対策状況 (完了年)	H28
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策			H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策※							
	-	除却 年度	-	カラー舗装、路面標示			完了 年度	H23			
今後の対策方針 対策推進上の課題	車両と歩行者が輻輳することから、踏切拡幅(歩道設置)を行う。										
備考 (協議状況等)	H23.3 J R西日本へ計画協議を提出 H23.7 J R西日本より計画協議回答 H27.4 J R西日本へ実施協議書を提出 H27.8 J R西日本より実施協議書回答 H27.8 J R西日本と工事施工に関する協定書を締結 H28.3 工事着手										

※)平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

## 踏切安全通行カルテ

よみがな	いとだみち				道路名	準幹線515号線東力・増泉線					
踏切道名	糸田道				(道路管理者名)	金沢市					
					鉄道路線名	北陸本線					
所在地	石川県金沢市糸田1丁目51				(鉄道事業者名)	西日本旅客鉄道					
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)	(現況)					
											
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし 設置していない			
	踏切長(m)	11.8	左道路	0.0	6.5	1.5	歩車道分離方法	なし			
			踏切道	0.0	6.5	0.0		拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	○	
	横断本数(本)	2	右道路	0.0	6.2	1.5	迂回路(自動車)	歩道+車道2車までの 拡幅の場合	-		
	交差角(度)	41	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)			種類	距離(m)		
				-	-		両方共なし		-		
道路 線形	左道路	直線		直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	○			
右道路	直線	-		-	-	-					
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	○			
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)					事故多発踏切	-		
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
	歩道狭路踏切	○	前後道路の 車道幅員(m)		前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)			
				起点寄(左)	終点寄(左)	5,695		152			
左道路			6.5	0.0	-1.5						
右道路	6.2	0.0	-1.5								
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			地域住民より歩道拡幅の要望がある。 (通学路に指定されているが、歩道が狭小、児童の通学等に危険があるため。)				
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	-
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	-
	無	-	-		ループコイル 式	○	-	-		対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策※						
	-	除却 年度	-	-	-	-	-	-	完了 年度	-	
今後の対策方針 対策推進上の課題	車両と歩行者が輻輳することから、踏切拡幅(歩道設置)を計画している。ただし、道路と鉄道との交差角を改良することが課題となっており、用地買収、建物補償等に膨大な費用を要するため、道路管理者が道路線形等構造改良について検討を行い、鉄道事業者、関係者と協議を行う。										
備考 (協議状況等)	H23.3 道路管理者より鉄道事業者へ踏切拡幅(歩道設置)に係る計画協議を提出 H23.7 鉄道事業者から道路管理者に計画協議回答(交差角改良を検討)										

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

## 踏切安全通行カルテ

よみがな	おおぬか2ごう				道路名	一般県道額谷三浦線					
踏切道名	大額2号				(道路管理者名)	石川県					
					(鉄道路線名)	石川線					
所在地	石川県金沢市大額1丁目418				(鉄道事業者名)	北陸鉄道					
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)	(対策前)  (現況)カラー舗装実施(H21) 					
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし 設置していない			
	踏切長(m)	5.4	左道路	3.8	14.6	3.6	歩車道分離方法	カラー舗装 白線・黄線			
			踏切道	1.5	14.0	1.5		拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	○	
	横断本数(本)	1	右道路	3.7	14.7	3.6	歩道+車道2車までの拡幅の場合		-		
	交差角(度)	90	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)		
	道路 線形	左道路		直線	-	-		両方共なし		-	
右道路		直線		迂回路のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況		○		
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	-			
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)					事故多発踏切	-		
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
	歩道狭隘踏切	○	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
		左道路	14.6	-2.3	-2.1		12,558	775			
		右道路	14.7	-2.2	-2.1						
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			付近に小学校、中学校があり通学路に指定されているほか、線路の両側に市道が並行し、踏切前後で交通が輻輳し非常に危険であった。				
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備			法指定 の状況	計画種別	-	
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置		二段型 遮断装置	指定年	-
	無	-	-		-	○	-		-	対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策※						
	-	除却 年度	-	カラー舗装、路面標示			完了 年度	H21			
今後の対策方針 対策推進上の課題	カラー舗装実施により歩行空間が確保できているが、今後、踏切の利用状況や事故の発生状況を注視し、必要に応じて対策を検討する。										
備考 (協議状況等)											

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

## 踏切安全通行カルテ

よみがな	とんやせんたー			道路名	1級幹線123号問屋・松寺線						
踏切道名	問屋センター			(道路管理者名)	金沢市						
所在地	石川県金沢市諸江町下丁375-2			鉄道路線名	浅野川線						
				(鉄道事業者名)	北陸鉄道						
地図 (広域及び狭域)				写真 (現況及び対策後)			(現況) 				
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし 設置していない			
	踏切長(m)	6.1	左道路	1.5	6.8	1.8	歩車道分離方法	なし			
			踏切道	1.5	8.0	0.5					
	横断本数(本)	1	右道路	4.5	10.0	4.5	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合 歩道+車道2車まで の拡幅の場合	- -		
	交差角(度)	90	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路		距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)	
				-	-	-	-		両方共なし	-	
道路 線形	左道路	直線		直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	-			
	右道路	直線		-	-	-					
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	-			
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)							事故多発踏切	-
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
	歩道狭路踏切	○	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
		左道路	6.8	起点寄(左)	0.0					終点寄(左)	-1.3
		右道路	10.0	起点寄(右)	-3.0	終点寄(右)	-4.0	14,600	379		
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			-				
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別	-
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	-
	無	-	-		光式	○	-	-		対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策			H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策※							
	単立	除却 年度	調整中	-			完了 年度	-			
今後の対策方針 対策推進上の課題	立体交差化事業の着手は都市計画道路大浦千木町線完成後のH28.4となっているが、大浦千木町線完成が当初の予定より遅れているため、事業着手時期について調整が必要である。										
備考 (協議状況等)	H16.2 北陸鉄道(株)と金沢市で立体交差化事業について協定書を締結 H23.3 北陸鉄道(株)と金沢市で、H28.4に工事着手することで合意し、事業着手時期順延の変更協定書を締結 H28.3 北陸鉄道(株)と事業着手時期順延の変更協定書を締結										

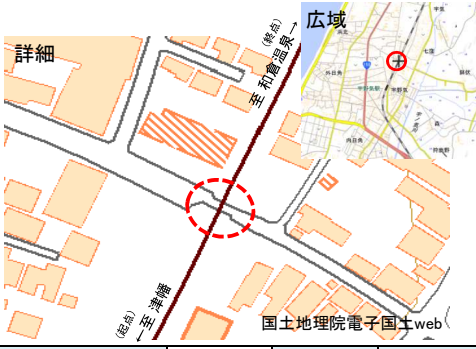


※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

### 踏切安全通行カルテ

よみがな	むいかいち				道路名	1級幹線48号新保本・八日市線					
踏切道名	六日市				(道路管理者名)	金沢市					
					鉄道路線名	北陸本線					
所在地	石川県金沢市八日市3丁目1-5				(鉄道事業者名)	西日本旅客鉄道					
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)	(対策前)					
						(現況)カラー舗装実施(H23)					
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制	交通規制なし			
	踏切長(m)	14.0	左道路	1.5	6.5	1.5	(車両進入防護柵等)	設置していない			
			踏切道	0.0	7.2	0.0	歩車道分離方法	カラー舗装			
	横断本数(本)	2	右道路	1.5	6.5	1.5	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合	○		
	交差角(度)	57	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)			迂回路(自動車)	歩道+車道2車までの 拡幅の場合	-	
				-	-		種類		距離(m)		
道路 線形	左道路	直線	迂回路 (歩行者)	直近のBF化 迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	-			
	右道路	直線		-	-	-	両方共なし	-			
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	-			
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)					事故多発踏切	-		
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和				
	歩道狭隘踏切	○	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)	歩行者交通量 (人/日)				
	左道路	6.5	起点寄(左)	終点寄(左)							
	右道路	6.5	起点寄(右)	終点寄(右)	6,077	245					
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
	踏切事故	0	0	-			地域住民より歩道拡幅の要望がある。 (歩道が狭小であり、自動車と歩行者等通行時に危険があるため。)				
	道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備			法指定 の状況	計画種別	構造の改良	
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置		二段型 遮断装置	指定年	H25
	無	-	-		ループコイル 式	-	-		-	対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策※						
	-	除却 年度	-	カラー舗装、路面標示			完了 年度	H23			
今後の対策方針 対策推進上の課題	車両と歩行者が輻輳することから、踏切拡幅(歩道設置)を行う。 工事実施時期については、鉄道管理者と調整が必要である。										
備考 (協議状況等)	H23.3 J R西日本へ計画協議を提出 H23.7 J R西日本より計画協議回答										

※) 平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

## 踏切安全通行カルテ

よみがな	ななくぼ				道路名	市道秋浜20号線				
踏切道名	七窪				(道路管理者名)	かほく市				
所在地	石川県かほく市七窪ヲ101-5				鉄道路線名	七尾線				
					(鉄道事業者名)	西日本旅客鉄道				
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)		(現況)  			
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制	大型車の通行禁止		
							(車両進入防護柵等)	設置していない		
	踏切長(m)	6.8	左道路	0.5	9.5	0.5	歩車道分離方法	なし		
			踏切道	0.0	4.0	0.0	歩道のみ拡幅の場合	-		
	横断本数(本)	1	右道路	0.5	4.8	0.5		歩道+車道2車までの拡幅の場合	○	
	交差角(度)	90	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)	
		-		-		両方共なし		-		
道路線形	左道路	直線		直近のBF化迂回路	距離(m)	BF化状況	通学路指定状況	-		
	右道路	直線	-	-	-					
緊急対策踏切の区分及び基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	○		
	自動車ボトルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多発踏切	-		
	歩行者ボトルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和			
	歩道狭隘踏切	○	前後道路の車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量(台/日)	歩行者交通量(人/日)			
		左道路	9.5	-0.5	-0.5	1,793	745			
		右道路	4.8	-0.5	-0.5					
踏切内の事故発生状況(過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等			
	踏切事故	0	0	-			地元町会より踏切及び道路の拡幅要望が挙がっており、通学路交通安全プログラムの要対策箇所にもなっている。			
	道路交通事故	0	0	-						
踏切保安設備設置状況	賢い踏切			踏切支障報知装置(手動)	高規格保安設備			法指定の状況	計画種別	-
	設置の必要性	有無	設置年度	障害物検知装置	オーバーハング型警報装置	大型遮断装置	二段型遮断装置		指定年	-
	無	-	-	○	-	-	-		対策状況(完了年)	-
対策実施状況(H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策※					
	-	-	除却年度	-	-	-	-	完了年度	-	
今後の対策方針 対策推進上の課題	踏切利用者の実態を踏まえ、必要な対策を検討し、関係者と協議を進めていく。									
備考 (協議状況等)	緊急対策踏切の見直しに伴い、当該踏切の対策について今後検討していく必要がある旨、道路管理者・鉄道事業者間で確認済み。									

※)平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

## 踏切安全通行カルテ

よみがな	みやのまえ				道路名		市道米永松本線					
踏切道名	宮野前				(道路管理者名)		白山市					
					鉄道路線名		北陸本線					
所在地	石川県白山市宮保新町1				(鉄道事業者名)		西日本旅客鉄道					
地図 (広域及び狭域)					写真 (現況及び対策後)		(対策前)					
諸元・構造等	踏切種別		第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制		交通規制なし		
								(車両進入防護柵等)		設置していない		
	踏切長(m)		13.1	左道路	2.5	7.5	2.5	歩車道分離方法		カラー舗装		
	横断本数(本)		2	踏切道	0.0	7.0	0.0	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合		○	
				右道路	3.0	6.5	3.0		歩道+車道2車までの拡幅の場合		-	
	交差角(度)		62	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路		距離(m)		迂回路(自動車)		種類	
			地下道		115		両方共なし		-			
			直近のBF化迂回路		距離(m)		BF化状況		通学路指定状況			
道路線形		左道路	曲線	-		-		-		○		
		右道路	直線	-		-		-		-		
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切		-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切		○		
				-								
	自動車*トルネック踏切		-	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多発踏切		-		
				-								
歩行者*トルネック踏切		-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和					
			-				-					
歩道狭路踏切		○	前後道路の 車道幅員(m)		前後歩道との幅員差(m)		自動車交通量 (台/日)		歩行者交通量 (人/日)			
			左道路		7.5	-2.5	-2.5	2,681		147		
			右道路		6.5	-3.0	-3.0					
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)		事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等				
		踏切事故	0	0	-			周辺には、小学校や大学があることから、通学の通行者が多く、通学路の合同点検においても歩道拡幅の要望あり。				
		道路交通事故	0	0	-							
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備				法指定 の状況	計画種別		-
	設置の 必要性	有無	設置 年度		障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置		指定年	-	
	無	-	-		ループコイル 式	-	-	-		対策状況 (完了年)	-	
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策				H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策※							
	-			除却 年度	-	カラー舗装			完了 年度	H22		
今後の対策方針 対策推進上の課題	踏切前後道路において、歩道が設置されているが、踏切道内には歩道が無く自動車と歩行者との接触の恐れがあるため、H22年度に踏切内を道路管理者でカラー舗装による歩車道分離を実施。 更に、地域・利用者から踏切拡幅の要望もあり、道路管理者にて踏切拡幅(歩道設置)の実施に向け、鉄道事業者と引き続き協議をして行く。											
備考 (協議状況等)	H23.3：道路管理者において踏切拡幅(歩道設置)計画協議書を鉄道事業者に提出 H23.7：鉄道事業者から道路管理者へ踏切拡幅(歩道設置)計画了承の回答											

※)平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。

# 踏切安全通行カルテ

よみがな	いしかわ			道路名	市道福留笠間線				
踏切道名	石川			(道路管理者名)	白山市				
所在地	石川県白山市笠間町1756			鉄道路線名	北陸本線				
地図 (広域及び狭域)				(鉄道事業者名)	西日本旅客鉄道				
写真 (現況及び対策後)				(現況)					
諸元・構造等	踏切種別	第1種	幅員(m)	歩道部 (起点寄)	車道	歩道部 (終点寄)	交通規制 (車両進入防護柵等)	交通規制なし 設置していない	
	踏切長(m)	12.8	左道路	2.7	6.5	0.0	歩車道分離方法	なし	
	横断本数(本)	2	踏切道	0.0	5.5	0.0	拡幅指針 の該当	歩道のみ拡幅の場合 ○ 歩道+車道2車まで の拡幅の場合 -	
	交差角(度)	90	迂回路 (歩行者)	直近の迂回路	距離(m)		迂回路(自動車)	種類	距離(m)
	道路 線形	左道路		直線	直近のBF化 迂回路	距離(m)		BF化状況	両方共なし
	右道路	直線	-	-	-	通学路指定状況	○		
緊急対策踏切の 区分及び 基準算定データ	開かずの踏切	-	ピーク時遮断時間(分)				通学路要対策踏切	○	
	自動車*トルネック踏切	-	踏切自動車交通遮断量(台・時)				事故多発踏切	-	
	歩行者*トルネック踏切	-	踏切歩行者等交通遮断量(人・時)				踏切自動車交通遮断量と踏切歩行者等交通遮断量の和		
	歩道狭隘踏切	○	前後道路の 車道幅員(m)	前後歩道との幅員差(m)	自動車交通量 (台/日)		歩行者交通量 (人/日)		
		左道路	6.5	-2.7	0.0	1,551	68		
		右道路	6.5	-2.7	0.0				
踏切内の事故 発生状況 (過去5年)	事故別	件数	死者数	事故発生年：事故履歴			地域・利用者からの要望等		
	踏切事故	0	0	-			周辺には、中学校や老人福祉施設があることから、中学生や高齢者の通行が多く、通学路の合同点検においても歩道拡幅の要望あり。		
	道路交通事故	0	0	-					
踏切保安設備 設置状況	賢い踏切			踏切支障 報知装置 (手動)	高規格保安設備			計画種別	構造の改良
	設置の 必要性	有無	設置 年度	障害物 検知装置	オーバ-ハング 型警報装置	大型遮断 装置	二段型 遮断装置	法指定 の状況	指定年
	無	-	-	○	ループコイル 式	-	-	対策状況 (完了年)	-
対策実施状況 (H17年度以降)	当該踏切を除却する対策			H17年度以降に実施した全ての対策と今後実施予定の対策※					
	-	除却 年度	-	路面標示			完了 年度	H22	
今後の対策方針 対策推進上の課題	踏切前後道路において、歩道が設置されているが、踏切道内には歩道が無く自動車と歩行者との接触の恐れがあるため、H22年度に踏切前後の道路に道路管理者で路面標示による注意喚起を実施。 更に、地域・利用者から踏切拡幅の要望もあり、道路管理者において踏切拡幅(歩道設置)の実施に向け、鉄道事業者と引き続き協議をして行く。								
備考 (協議状況等)	H23.3：道路管理者において踏切拡幅(歩道設置)の計画協議書を鉄道事業者へ提出 H23.7：鉄道事業者から道路管理者へ踏切拡幅(歩道設置)計画了承の回答								

※)平成28年度以降は、踏切周辺対策も記載。